

2019年 1月 28日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院循環器内科に、急性冠症候群で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学循環器内科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

「瞬時血流予備量比、心筋血流予備量比と冠動脈バイパス術後のグラフト開存率に関する検討」に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学循環器内科講座 教授 赤坂 隆史

3. 研究の目的

術前の瞬時血流予備量比、心筋血流予備量比によって、冠動脈バイパス術後のグラフト開存率に差が生じるかを検討する。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

平成20年1月1日から平成30年12月31日までの期間中に術前の心臓カテーテル検査時に冠内圧測定(瞬時血流予備量比、心筋血流予備量比)による評価を受けたのちに冠動脈バイパス術を施行した冠動脈疾患患者さん

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、内服歴、既往歴、冠動脈画像・冠内圧測定データに関する情報です。

(3) 方法

対象となる患者さんのデータベースを作成し、循環器内科で冠動脈画像・圧データの解析を行う。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学循環器内科講座 担当医師 和田 輝明

TEL : 073-447-2300 (内線 5167)

E-mail : w_teruakil026@yahoo.co.jp